

区域分類名			A	B	C	D	E	F
			中心市街地	地域核拠点 (一般市街地型)	地域核拠点 (郊外型)	主要幹線沿道 居住区域	拠点周辺居住区域	一般居住区域
区域像			交通結節機能を活かした市民のみならず北北海道の広域拠点にふさわしい都市機能を集積する地域核拠点	地域特性に応じた日常生活に必要な機能と地域の核となる都市機能を集積する「A、C」以外の地域核拠点	支所を中心に農村地域の核となる地域生活に必要な機能を集積する地域核拠点 (H47地区人口0.5万人以下 ・H47人口密度30人/ha以下)	公共交通の効率的な活用に向け人口密度の高い居住地の形成を目指す区域 (公共交通等の主要幹線沿道(奥行100~300m程度の範囲))	地域核拠点の都市機能の効率的な活用に向け人口密度の高い居住地の形成を目指す区域 (「A、B」縁辺部から概ね300mの範囲)	これまで通りのゆとりある住環境を維持する区域 (市街化区域内で次の地域等を除いた区域 ・工業専用地域等 ・災害危険地域等 ・「A~E」区域)
居住機能			中高層共同住宅等を誘導	共同住宅や一定規模の宅地開発等を誘導	共同住宅等を誘導	共同住宅や一定規模の宅地開発等を誘導	共同住宅や一定規模の宅地開発等を誘導	住環境の悪化防止
都市機能			高次都市機能	維持・誘導	—	—	—	—
				市役所、地域医療支援病院、大型複合商業施設、コネクショ施設、多世代利用複合施設(子育て支援や老人福祉施設等)	—	—	—	—
都市機能			都市機能	維持・充実	維持・充実	維持・充実	—	—
				行政機能、介護福祉機能、子育て支援機能、医療機能、商業機能等	行政機能、介護福祉機能、子育て支援機能、医療機能、商業機能等	行政機能、子育て支援機能、金融機能等	—	—
公共交通			維持・充実 結節機能の強化	維持・充実	「A、B」との連絡維持(周辺農村部は将来的な公共交通体系の在り方を検討)	維持・充実	維持・充実	維持(将来的な公共交通体系の在り方を検討)
想定該当地域			中央 神楽	永山 豊岡 東光 東旭川 緑が丘 神居 北星 春光・末広 春光台・鷹の巣	西神楽 東鷹栖			
都市機能	施設	施設の配置方針	中心市街地	地域核拠点 (一般市街地型)	地域核拠点 (郊外型)	主要幹線沿道 居住区域	拠点周辺居住区域	一般居住区域
居住機能	一定の住宅開発・共同住宅(低層)	公共交通の効率的な利用とともに、将来の居住の柱となる区域	○	○	□	○	○	
	共同住宅(中高層)	公共交通の効率的な利用とともに、将来の居住の柱となる区域	◎	○				
行政機能	市役所	交通結節点があり、賑わい創出が期待できる区域	◎					
	市役所支所・まちづくりセンター	市民が利用しやすく、賑わい創出が期待できる区域		○	○			
	公民館・地区センター等	市民が利用しやすく、賑わい創出が期待できる区域	○	○	○			
介護福祉機能	老人福祉センター等	地域の高齢者等が容易に利用できる区域	○	○				
	高齢者福祉施設等(通所施設)	日常生活に必要な施設であり、市内全域	○	○	○	*	*	*
	障害者福祉施設等(通所施設)	障害者が容易に利用できるよう、市内全域	○	○	○	*	*	*
子育て機能	サービス付き高齢者向け住宅	高齢者等が容易に移動できる区域	○	○	□	○	*	*
	保育所・幼稚園・認定こども園 児童センター・子育て支援センター	日常生活に必要な施設であり、市内全域 市民が利用しやすい区域	○	○	○	*	*	*
医療機能	診療所	日常生活に必要な施設であり、市内全域	○	○	○	*	*	*
	病院	地域の高齢者等が容易に通院できる区域	○	○		□		
	(地域医療支援病院)	高齢者等が公共交通を利用し容易に通院できる区域	◎	○				
商業機能	食料品等(日用品)	日常生活に必要な施設であり、市内全域	○	○	○	*	*	*
	複合商業施設(買い回り品) 大型複合商業施設(10,000㎡以上)	地域の賑わい創出が期待できる区域 広域的な利用による賑わい創出が期待できる区域	○ ◎	○				
金融機能	郵便局・銀行	日常生活に必要な施設であり、市内全域	○	○	○	*	*	*
教育機能	小学校・中学校	日常生活に必要な施設であり、市内全域	○	○	○	*	*	*
	高等学校	公共交通を利用し容易に利用できる区域	○	○		□		
	大学・専修学校等	公共交通を利用し容易に利用できる、賑わい創出が期待できる区域	○	○				
文化機能	図書館(分館含む)	市民が利用しやすく、賑わい創出が期待できる区域	○	○	○			
	美術館・博物館	広域的な利用による賑わい創出が期待できる区域	○					
その他	コネクショ施設・大規模ホール施設	広域的な利用による賑わい創出が期待できる区域	◎					
	多世代交流型複合施設(※)	賑わい創出が期待できる区域	◎					
	オフィス	賑わい創出が期待できる区域	○	○				
	ホテル・旅館	広域的な利用による賑わい創出が期待できる区域	○					

◎、○、□ は望ましい施設を示す(◎-○-□の順で優先)

* は実情に応じて維持が必要となる施設を示す

誘導施設を示す

(※) 多世代交流型複合施設は、子育て支援機能や高齢者福祉機能等と居住機能を組み合わせた上で、コミュニティスペースを設けた施設を示す